

第 23 回長泉わくわく祭りにおける 「J クレジット制度」の活用

平成 31 年 4 月 23 日

J クレジット制度とは

現在、国では SDGs（持続可能な開発に向けた国際社会共通の目標）の達成のため、あらゆる分野で施策を展開しております。環境対策においては、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき、一定規模以上の民間企業や公共団体において、二酸化炭素削減目標の達成が義務づけられ、目標の達成ができない場合には環境省からの指導があり、民間を含めた環境対策を講じております。

町においても、長泉町環境基本計画に基づき、省エネルギー機器の利用推進といった持続可能な開発に向けた施策を民間企業や団体とともに連携し展開しております。この中で地球温暖化防止対策として昨年度より取り組んでいる事業が、環境省の推進する「J クレジット制度」です。

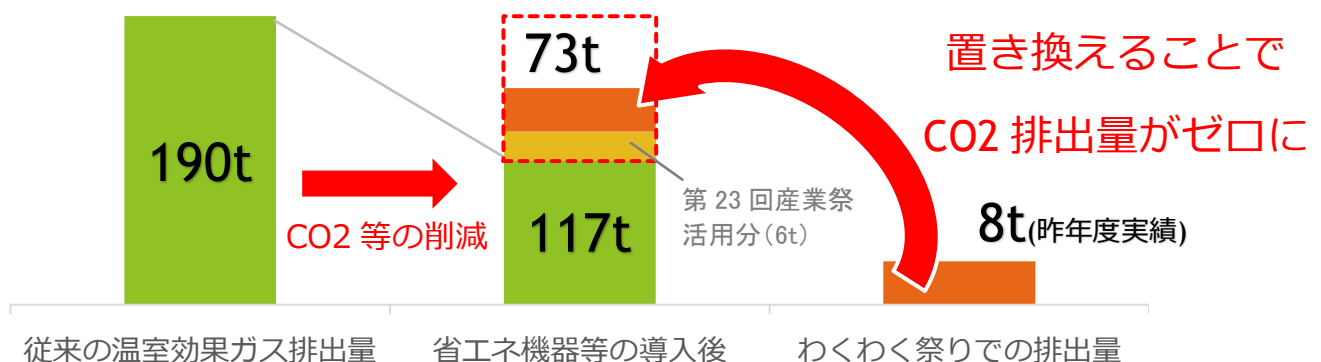
この制度は、省エネルギー機器の導入などの取り組みによる、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減量を「クレジット」として国が認証する制度です。

この制度から創出されたクレジットは、ある場所で排出された温室効果ガスを、温室効果ガスの排出量の削減を行った他の場所で発生したと置き換える方法（カーボンオフセットなど）により、民間企業で二酸化炭素削減目標が達成できない場合に利用するなど様々な用途に活用されています。

昨年度には、第 23 回長泉町産業祭において、この制度を活用し、温室効果ガス 6 t のオフセットを実現するとともに、町内（シャリエ長泉グランマークス）で生み出された環境価値を町内で活用する“地産地消”を県内初の取り組みとして実現しました。

今年度においても、長泉わくわく祭りは、長泉町産業祭と同様に多くの町民の皆様が来場する盛大な催しであり、人や物の流通により多くの温室効果ガスが排出されることから、この制度を活用し置き換えること（カーボンオフセット）で地球環境に配慮した催しとすることができます。

シャリエ長泉グランマークスの温室効果ガス削減量をわくわく祭りで置き換えた場合



シャリエ長泉グランマークスにおける温室効果ガス排出量の削減

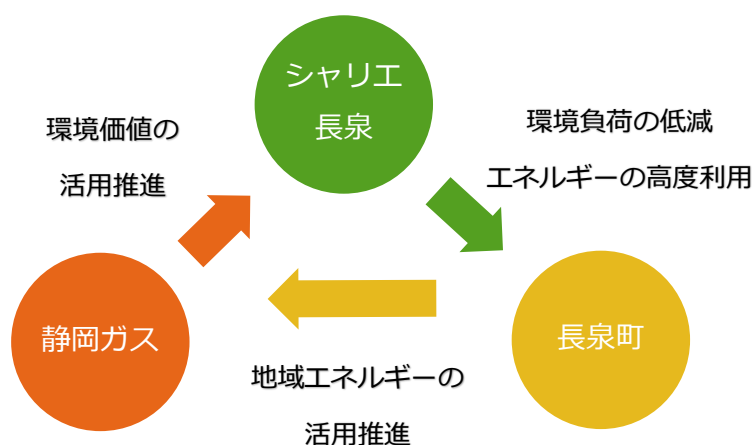
シャリエ長泉グランマークスでの温室効果ガス素排出削減量は、従来と省エネ機器が導入された場合を比べ、平成 29 年度には 73t/年が削減された実績があり、昨年度以降には約 90～100t/年の削減を予想しています。

なお、平成 29 年度に削減された二酸化炭素排出量は、平成 30 年 10 月 4 日付の J クレジット認証委員会で正式に J クレジットとしての認証を受けております。

環境創造型まちづくり協定

平成 27 年 9 月 29 日に、静岡ガス(株)と東レ建設(株)、長泉町の 3 者で環境創造型まちづくり協定を締結しました。その中で以下の内容を連携していくことを定めています。

- 1 環境負荷の低減とこれによって生み出される環境価値の活用推進
- 2 エネルギーの高度利用
- 3 地域エネルギー資源の活用推進
- 4 上記の取り組みを通じた地域コミュニティの形成と地域活性化



第 22 回長泉わくわく祭りにおける二酸化炭素排出状況（概算）

第 22 回長泉わくわく祭りでは、温室効果ガスが以下のとおり排出されていました。

件名	温室効果ガス排出量 (kg)	備考
車両の使用（運営）	87.89	フォークリフト、トラック等
車両の移動 （来場者・出展者・関係者）	1664.63	約 720 台
発電機の使用	6311.96	51 台
合計	8064.48 (8.06 t)	